

# 茅野市教育のめざすすがた

街中を子どもの学びの場  
 ・子どものための学びの場  
 ・フリースクールとの連携

地域とともにあり、地域  
 づくりに参画する学校  
 ～共生社会の中の学校

縄文のビーナスプラン②  
 地域の特色と教育的財産を生かした小中一貫教育と  
 探求的な学び

# 茅野市の働き方改革の具体

児童相談所・警察・  
 外部機関との連携

# 学校の取組

## 地域と共につくる学校

- 1 コミュニティ・スクールの充実 ④ ⑱  
 (地域コーディネータによる運営)  
 ・子どもの学びのための支援  
 ・学校施設整備への支援  
 ・見回り(交通安全・不審者) ①
- 2 ボランティアの方による学びの支援 ⑮
- 3 広報資料・ウェブサイトの作成 ⑦

泉野小学校では、地域の方より読み聞かせ、授業、クラブ活動、環境整備、スケート場整備等へ支援をいただきます。

# 働き方改革の核

～学校と教育委員会との役割分担と協働～ 子ども・家庭支援の充実と  
 子ども家庭への支援・相談は **育ちあいちの** 学校・職員の支援の充実と  
 ⑤ ⑲ 精神的負担の軽減

茅野市の働き方改革 泉野小学校 ( ① ② …の番号は裏面参照) R8. 3  
 子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり  
 ～たくましく・やさしい夢のある子どもを育てる～

自分の人生を豊かに  
 生きる教職員

時間削減の目標

	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R11年
小学校	35	34	33	32	31	30
中学校	42	39	36	33	30	30

縄文のビーナスプラン①  
 共生社会をつくり、子どもたちの  
 多様性を包み込む学校

茅野市働き方改革の目標  
 子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり  
 —教職員が教育活動に専念でき、自分の人生を豊かにするための教育環境—  
 —時間を生み出す工夫をしていく—

市の社会福祉部門との連携

## 学校業務の効率化・軽減化

- 1 勤務時間の客観的管理・市教委の把握
- 2 校務のICT化 教師用タブレットとクラウド利用とネットワーク化
- 3 業務支援員の配置 ⑮
- 4 会議、提出物の精選化
- 5 年間計画、日課表の改善(研究、授業準備の時間の確保、定時退庁日の設定)

泉野小学校では、日課の見直しを行い年間を通して、6時間授業のときは15時30分、5時間授業のときは14時45分を児童完全下校として、授業準備等の時間を確保し授業の充実をめざします。

## 教育課程の改善

- 1 1時間単位の授業の弾力的運用  
 (中学校)
- 2 小学校教科担任制
- 3 教具・教材の共有化

泉野小学校では、連学年での教科担任制を導入し教師の専門性を高め、より質の高い授業に結びつけます。

# 働き方改革への市教委として教育活動への支援 ～リードから支援とアドバイスへ～

- 1 読書活動応援センター(読書指導への支援)
- 2 ICTサポートセンター(ICT教育のため12名を配置) ⑧
- 3 発達支援センターと特別支援教育支援員の配置(40名)
- 4 公民館等の公共機関による出前講座等による支援

- 5 いじめ対応の学校支援員会 ・アドバイザーの配置 (弁護士、医師、心理の専門家・学識経験者)
- 6 部活動の地域展開 (土日の部活はR8年度に完全展開 平日の部活動はR13年度までに完全展開) ⑬
- 7 不登校支援 サポートルームの設立(6サポートルーム、7ミニサポートルーム)まなざし 県費1名、市費10名の教員配置
- 8 給食指導、食育への栄養教諭、栄養士による指導 ⑭

# 教職員のメンタルヘルス

- 1 ストレスチェックの活用
- 2 市独自のストレスチェックテスト
- 3 教職員の相談窓口(育ちあいちの)
- 4 教委による外部相談・医療紹介